

2024年産米の収穫予想(7月31日現在)

【水稻作柄】◆全国作況101の「平年並み」

米穀データバンクでは、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況および収穫量を予想しました(8月1日以降、収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。天候経過によって上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2024年産(令和6年産)の水稻作柄は、全国作況101の「平年並み」が予想されます。田植え以降、高温・多照で経過するなど、全国的におおむね天候に恵まれて推移していますが、一部地域では日照不足等の影響がみられるほか、東北地方でも大雨の影響が見込まれています。

地帯別の作況は、▽「やや良」=北海道104、東北102▽「平年並み」=関東100、北陸99、東海100、近畿100、中国101、四国101、九州101、沖縄99…となっており、「やや不良」はありませんでした。都道府県別では、102~105の「やや良」が12道県、99~101の「平年並み」が32都府県、95~98の「やや不良」が3県と見込まれます。

なお、7月の大雨で発生した秋田県・山形県での浸水・冠水被害についても、現時点で把握できる範囲で作付面積に反映させています。また、8月以降も高温傾向が見込まれるほか、台風の発生など天候不順の影響が生じる可能性があるため、▽高温障害▽病害虫の被害▽台風の動向等が収量・品質に与える影響に留意する必要があります。

【水稻作付面積】◆推計125万5千ha(主食用米等)

需要に見合った生産の取り組み状況や各県等への聞き取りを踏まえ、主食用米等の水稻作付面積を125万5千ha、前年産実績比1万3千ha増と推計しました。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など非主食用の戦略作物は収穫予想から除外しています。また、自然かい廃等があることから変動の余地があります。

【水稻収穫量】◆主食用米等約679万トン

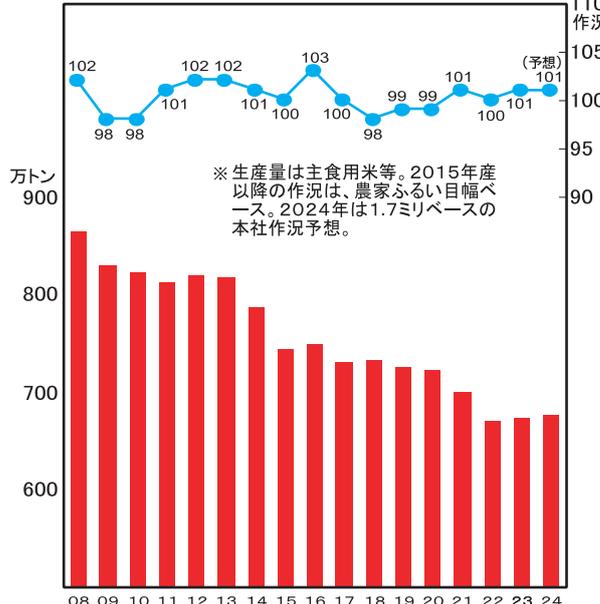
作付・作況予測に基づく、7月31日現在における本年産水稻主食用米等の収穫予測は全国平均で10a当たり収量541kg、収穫量約679万トン、前年産実績比約17万9千トン増と見通しました。

令和6年/7年(令和6年7月から7年6月)における主食用米等の供給量は、令和6年6月末の在庫約156万トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて約835万トンと見込まれます。基本指針で7月に策定された需要見通し約673万トンを差し引くと、令和7年6月末の在庫は約162万トン。在庫はまだ低い水準のため、需給がタイトな状況が見込まれます。5年産米の高騰により、6年産米の価格も高い水準でスタートしているうえ、古米在庫が少ないなか、6年産米への切り替えも早く進みそうな状況です。価格上昇による需要減も懸念されるため、販売進捗と需要動向の確認が必要になりそうです。

[表1] 全国の水陸稲収穫予測(主食用米等)

			2024年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,255,300	12,900	101.0%
	収穫予想	t	6,789,800	179,000	102.7%
水稻	作付面積	ha	1,255,000	13,000	101.0%
	10a収量	kg	541	8	101.5%
	収穫予想	t	6,789,000	179,000	102.7%
	作況指数		101	0	100.0%
陸稲	作付面積	ha	331	▲ 70	82.5%
	10a収量	kg	229	21	110.1%
	収穫予想	t	758	▲ 77	90.8%

■ コメ生産量と水稻作況指数



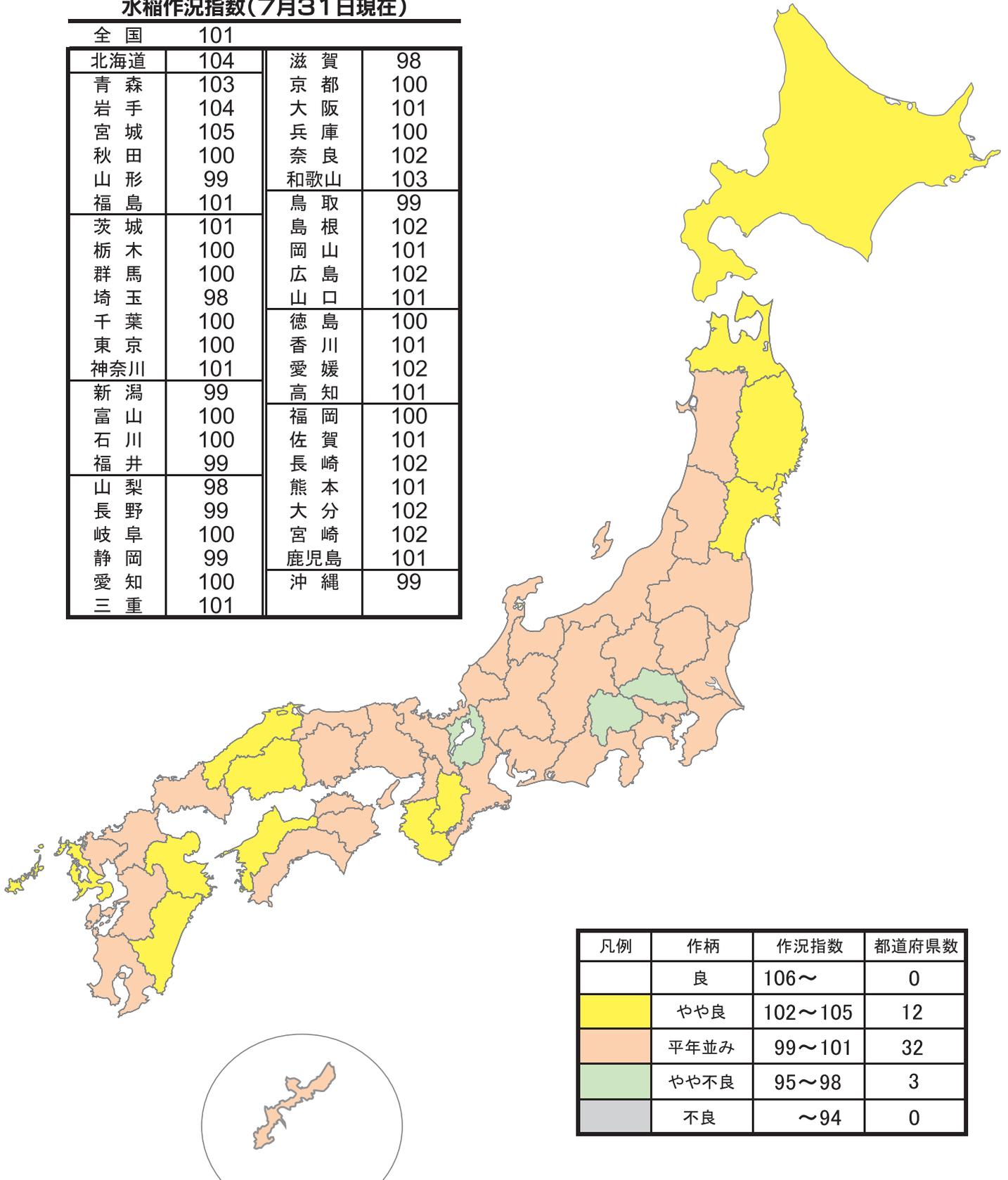
[注]加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅の基準が異なるため、表記せず。

2024年産水稻の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稻作況指数(7月31日現在)

全国	101		
北海道	104	滋賀	98
青森	103	京都	100
岩手	104	大阪	101
宮城	105	兵庫	100
秋田	100	奈良	102
山形	99	和歌山	103
福島	101	鳥取	99
茨城	101	島根	102
栃木	100	岡山	101
群馬	100	広島	102
埼玉	98	山口	101
千葉	100	徳島	100
東京	100	香川	101
神奈川	101	愛媛	102
新潟	99	高知	101
富山	100	福岡	100
石川	100	佐賀	101
福井	99	長崎	102
山梨	98	熊本	101
長野	99	大分	102
岐阜	100	宮崎	102
静岡	99	鹿児島	101
愛知	100	沖縄	99
三重	101		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
■	やや良	102～105	12
■	平年並み	99～101	32
■	やや不良	95～98	3
■	不良	～94	0

[表2]2024年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,255,000	541	101	6,789,000	179,000
北海道	83,900	594	104	498,200	22,300
青森	34,800	625	103	217,600	10,100
岩手	42,800	566	104	242,100	6,300
宮城	58,000	574	105	333,100	9,300
秋田	71,800	577	100	414,300	28,500
山形	51,300	597	99	306,200	▲ 2,400
福島	55,100	559	101	307,800	9,900
茨城	60,200	532	101	320,400	14,100
栃木	50,100	540	100	270,500	9,500
群馬	12,800	498	100	63,700	1,200
埼玉	28,000	484	98	135,600	2,500
千葉	47,800	544	100	260,000	4,900
東京	110	414	100	460	▲ 5
神奈川	2,820	499	101	14,100	▲ 100
新潟	101,000	537	99	541,900	27,800
富山	31,400	547	100	171,800	7,100
石川	20,800	523	100	108,800	1,100
福井	23,000	514	99	118,200	10,700
山梨	4,550	531	98	24,200	▲ 1,100
長野	29,400	613	99	180,200	300
岐阜	19,500	485	100	94,600	▲ 700
静岡	15,000	513	99	76,900	▲ 1,000
愛知	25,000	502	100	125,500	6,900
三重	24,800	505	101	125,200	500
滋賀	27,300	508	98	138,600	2,500
京都	13,100	510	100	66,800	500
大阪	4,330	500	101	21,600	▲ 700
兵庫	32,000	501	100	160,300	▲ 1,200
奈良	8,100	523	102	42,400	0
和歌山	5,600	518	103	29,000	▲ 200
鳥取	11,600	509	99	59,000	2,700
島根	15,700	524	102	82,300	400
岡山	27,200	531	101	144,500	6,200
広島	20,200	539	102	108,800	▲ 900
山口	15,700	509	101	79,900	▲ 1,700
徳島	9,600	474	100	45,500	1,000
香川	9,900	501	101	49,600	▲ 500
愛媛	12,700	508	102	64,500	▲ 100
高知	10,200	461	101	47,000	700
福岡	31,900	491	100	156,600	1,600
佐賀	22,000	524	101	115,300	2,200
長崎	9,600	495	102	47,500	▲ 1,300
熊本	28,800	518	101	149,200	▲ 500
大分	17,900	509	102	91,100	2,200
宮崎	12,200	506	102	61,700	0
鹿児島	15,300	490	101	74,900	▲ 1,700
沖縄	500	309	99	1,540	▲ 190

[注]面積は米穀データバンク推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7ミリ基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用のふるい目幅ベースと異なる。ラウンドのため、計が合わない場合がある。

(参考)

米穀データバンクの作況予測[1.7mm基準]の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
H5	93	(8/15)95	74
6	108	(8/15)105	109
7	100	(8/15)100	102
8	100	(8/15)101	105
9	103	(8/15)102	102
10	97	(8/15)99	98
11	103	(8/15)103	101
12	103	(9/1)103	104
13	102	(9/15)103	103
14	102	(9/15)101	101
15	94	(9/15)92	90
16	103	(9/10)101	98
17	100	(9/15)102	101
18	96	(9/15)97	96
19	99	(9/15)99	99
20	102	(9/15)102	102
21	96	(9/15)98	98
22	102	(9/15)99	98
23	101	(9/15)101	101
24	102	(9/15)102	102
25	100	(9/15)102	102
26	102	(9/15)101	101
27	100	(9/15)100	100[100]
28	100	(9/15)103	103[102]
29	102	(9/15)100	100[100]
30	102	(9/15)100	98[99]
R元	100	(9/15)101	99[99]
2	98	(9/15)101	99[99]
3	102	(9/25)100	101[101]
4	101	(9/25)100	100[100]
5	101	(9/25)100	101[99]

[注]米穀データバンク予測の平成5年産は早場13道県で8月10日現在。同6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況の8/15は文字情報に変更し9/15現在、令和3年産から9/25現在からの公表になっています。平成12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、同16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更しています。[]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本予想は1.7ミリ基準を採用しています。